

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×協力者がいないから仕事ができないと思うのは誤解だ！

アメリカの芸術の殿堂「カーネギーホール」を創設した鉄鋼王カーネギーは言う。

「人間は優れた仕事をするためには、自分ひとりでするよりも、他人の助けを借りる方が良いものだと悟ったとき、その人は偉大なる成長を遂げるのである」

また、こんな言葉もある。「周囲を引きずり回せ。引きずると、引きずられるのとでは、永い間に、天と地の開きができる」これは、広告代理店の雄、電通の『鬼の 10 訓』のひとつである。つまり、本当に仕事ができる人というのは、自分一人で全てを成し遂げる人ではない。仕事のできる人たちを引きずりまわして、彼らと共に仕事をしているのである。

※ 「私は仕事ができる」と自己暗示をかけよ

これを逆に言うと、人を引きずりまわすくらいの考えと情熱をもたない人は、本当に仕事ができるとは言えないということだ。自分ひとりでできる範囲の仕事を進めていくと、必ず困難にぶつかる。そして「これは私には無理だな」と短絡的に結論を出してしまう。周囲を引きずりまわす発想をもてば、仕事のできる人たちを引きずりまわして、先手先手で大きい仕事を創りだすことができるのだが、自分ひとりの限界が外側に大きい仕事があることを知り、その限界を突破する挑戦ができる人になろう。

※ 生意気と言われて大いに結構

あなたは、人を引きずりまわすくらいの考えと情熱をもった。そして、あらゆる人達の協力を得て、知恵も力も引き寄せる大きな仕事が出来ようになったとしよう。そうすると、あなたに対する妬みから、「あいつは周りのかき回し迷惑をかけている。生意気だ。」という人が出てくるかもしれない。しかし、気にしないことだ。そういう人は、仕事のできない人だからだ。あなたが謙虚さを持ち続けている限り、本当の仕事をしたいたいと考える人は、あなたを理解し盛り上げてくれる。

1) 鉄鋼王カーネギーは何と言っていますか？

( )

2) 人を引きずりまわすくらいの考えと情熱をもたない人はどのような結論を出しますか？

( )

3) 仕事が出来るとなると妬みからどんな事を言われますか？

( )